

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	市民文化センター施設維持管理事業	所管	市民経済部 コミュニティ推進課
			TEL 2998-9083

事業の目的 (何の為に 行うか)	施設利用者の安全と施設の長期的かつ効率的な維持管理を行うために、修繕・工事を実施する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民文化センター	対象とした数	1	施設
		実際に 利用した数	1	施設

活動の内容	(何を したか)	① 当課、営繕課、指定管理者で、施設の修繕・工事について協議を行う。							
		② 協議に基づき修繕計画を策定する。 ③ 修繕・工事についての設計を営繕課が行う。 ④ 設計完了後に入札を行い、業者を選定する。 ⑤ 請負業者は修繕・工事を施工する。 ⑥ 修繕・工事完成後に検査室の検査を行う。							
活動実績	項目名	施設の修繕	0	項目名	施設の工事	92421	項目名		単位
			----- 単位 千円			----- 単位 千円			----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	98,700	92,421	95,239	280.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	修繕・工事件数	年間修繕・工事件数	5	5	100.0
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード	030100	2998-9083
事業コード	市民文化センター施設維持管理事業		市民経済部 コミュニティ推進課	
030103		グループ	指定管理者施設管理	
開始年度 平成 5 年度 → 終了年度 平成 年度				

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市民文化センター条例			
関連・類似事業				
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化
			中柱	2 芸術・文化活動の振興・発信
			小柱	(4) 市民文化センターの活用
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ***		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
コード	ユニバーサルデザインの推進	コード	事前評価制度の充実・強化	コード
1311		2223		3233
定期的な評価制度の構築				
事業開始の背景	平成5年11月開館の市民文化センターの維持管理について、長期展望に立ち適切かつ計画的に施設の維持管理を行い、効率的な修繕・工事を行う。			

③事業の内容				
目的(何のために行うか、具体的に)				
施設利用者の安全と施設の長期的かつ効率的な維持管理を行うために、修繕・工事を実施する。				
対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方		
市民文化センター		維持管理する施設数		
対象数	単位	平成 18 年度	1	施設
		平成 19 年度	1	施設
利用数	単位	平成 18 年度	1	施設
		平成 19 年度	1	施設
事業の具体的な内容及び実施方法				
① 当課、営繕課、指定管理者で、施設の修繕・工事について協議を行う。				
② 協議に基づき修繕計画を策定する。				
③ 修繕・工事についての設計を営繕課が行う。				
④ 設計完了後に入れを行い、業者を選定する。				
⑤ 請負業者は修繕・工事を施工する。				
⑥ 修繕・工事成業後に検査室の検査を行う。				

④前年評価と改善点				
平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
平成19年度中に改善した点				
利用者の要望を考慮し、バリアフリー化に努めるため、関係各課と施設のバリアフリー工事計画について検討した。				

⑤経費				
《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算		38,500	98,700	62,400
決算 (見込み含む)		35,666	92,421	
(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)
正規職員人件費	0.25 人	2,300	0.30 人	2,818
公債費				
事業費合計		37,966	95,239	
財源内訳	一般財源	37,966	95,239	62,400
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
	その他			
市民一人当たり(単位:円)		112.4	280.9	
利用数一単位あたり(単位:円)		37,966,000.0	95,239,200.0	

⑥指標	項目名	計算法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	施設の修繕	年間の修繕費	千円	19394	0		
		施設の工事	年間の工事費	千円	16275	92421		
	成果分析	修繕・工事件数	年間修繕・工事件数	目標値	3	5	6	
実績				5	5		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
% 達成率				166.7	100.0		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題				
バリアフリー法施行以前の建物であり、利用者の利便を考慮しバリアフリー化を図る。				
⑦一次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)	
	平成20年度における目標設定		バリアフリー化の箇所をすべて抽出し計画を策定する	
	平成21年度における事業の方向性		時期(いつまで)	
総合評価		<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
予算		<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由				
バリアフリー法施行以前の施設であり、すべてをバリアフリー化するには、莫大な予算を要するが、計画の推進を図る。				
評価日		平成20年5月13日		
記入者職氏名		コミュニティ推進課主幹 麻生 雄路		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	事前評価	部内優先順位… 31 位	非常に高い	高い	やや低い
評価理由	優先度評価	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業			
	見込まれる貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業			
		<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業			
評価理由	会館活動を継続的に行っていく上で、必要な修繕等は欠かせないものであるため、「引き続き実施」と評価を行った。				
評価日	9月1日				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画				
	本事業の左記計画における位置づけ… 無し				
	計画コード				
	◎次世代育成支援行動計画				
本事業の左記計画における位置づけ… 無し					
計画コード					
基本目標					
主要課題					
施策の方向					